

第 61 回全国高等学校軟式野球選手権東中国大会

2016 年 7 月 31 日 矢掛高校 V S 隠岐水産高校 @倉敷マスカットスタジアム補助球場

	1	2	3	4	5		計
矢 掛	0	6	1	6	0		13 _x
隠岐水産	0	0	0	0	0		0

矢 山木 - 林

矢掛高校 2 年ぶり 7 回目の東中国大会の先発マウンドを託されたのは、2 年生右腕の山木（美星中）。

- 1 回表、矢掛高校の攻撃。相手の投手の好投により三者凡退となる。
- 1 回裏、隠岐水産高校の攻撃。先頭に右前打を放たれるも、捕手：林（真備東中）が盗塁を刺し、後続も続かず無失点に抑える。
- 2 回表、矢掛高校の攻撃。先頭の三澤大地（真備東中）が四球で出塁。続く福尾（井原中）が失策により出塁し、多賀尚（矢掛中）が投手直撃の内野安打で無死満塁とチャンスする。続く多賀圭吾（矢掛中）、三澤魁太（真備中）が二者連続押し出し四球を選び 2 点を先制する。一死から、林が走者一掃の左越三塁打を放ち、3 点を追加する。さらに竹井（美星中）が内野安打を放ち、1 点を追加。竹井が連続盗塁を決め、二死三塁とするも、後続が途切れチェンジ。矢掛高校は一举に 6 点を先制する。
- 2 回裏、隠岐水産高校の攻撃。二死から中前打を放たれ出塁を許すも、相手の後続が続かず。
- 3 回表、矢掛高校の攻撃。一死から多賀尚が左前打を放ち、盗塁を決める。続く多賀圭吾の中前打で 1 点を追加する。リードは 7 点に広がる。
- 4 回表、矢掛高校の攻撃。一死から林が四球で出塁。代打：温井（井原中）も四球を選ぶ。二死となり重盗を決め、二死二・三塁。続く三澤大地と福尾が四球を選び、押し出しで 1 点を追加する。ここで隠岐水産高校投手交代。二死満塁から多賀尚が死球で押し出し。続く多賀圭吾が走者一掃の中越三塁打を放ち、中継が乱れる間に一気に本塁へ。さらに 4 点を追加。矢掛高校はこの回 6 点を追加する。
- 4 回裏、隠岐水産高校の攻撃。山木の安定した投球により三者凡退とする。
- 5 回表、矢掛高校の攻撃。一死から林が左前打を放つが後続が続かず、この回無得点。
- 5 回裏、隠岐水産高校の攻撃。先頭に中前打を放たれるが、林が盗塁を刺す。続く打者に四球を与えるも後続を断ち、最後は空振り三振で抑え、試合終了。

矢掛高校は隠岐水産高校に 13-0 で 5 回コールド勝ちをおさめた。今日の試合は相手投手の投球が安定せず、押し出しでの得点が多かったが、チャンス場面での安打も多くみられ、終始矢掛ペースで進む試合を展開できたと思う。明日は春季中国大会王者である新見高校との対戦だ。いつも通りの矢掛らしい野球をし、全国大会への道を切り開いていってほしい。暑い中、保護者をはじめ沢山の応援ありがとうございました。全国大会出場を目指し、残りの試合も勝ち進めるよう頑張りますので、応援のほどよろしくお願いします。（文責：齋藤 穂香）

新チームの戦績 **21** 勝 **16** 敗 **5** 分